

月光新聞

ゲッコパレード本拠地公演
戯曲の棲む家 vol.8 『マクベス』

当日連絡先：
090-2826-9131 (制作)

旧加藤家住宅
〒335-0003 埼玉県蕨市南町2-8-2

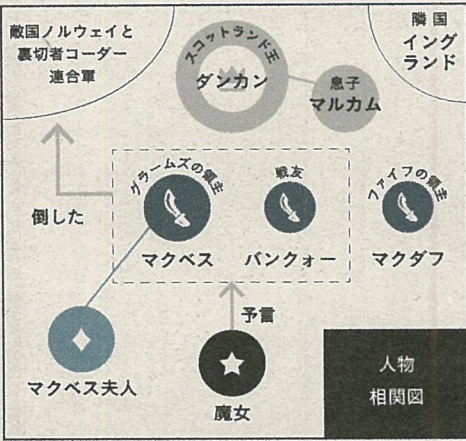
編集：渡辺瑞帆

マクベス大勝利

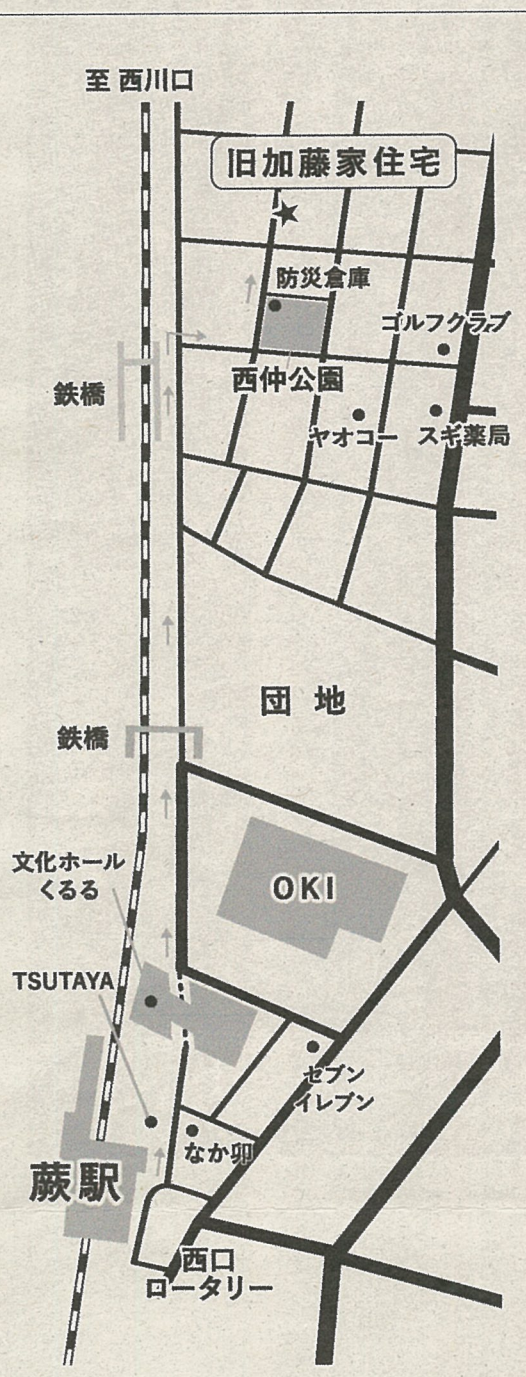
コーダーの領主の次は王に？

マクベスの勝利の知らせに陛下はたいそうご満悦だ。反乱軍相手のご奮闘の報告をお読みになると言葉もない驚きと彼を称えたいお気持ちとお心のうちで争っているご様子。ただし、さらなる栄誉の手付けとしてコー

魔女「万歳、マクベス！ グラムズの領主！ 万歳、マクベス！ コーダーの領主！ 万歳、マクベス！ 王になるお方。万歳、パンクォー！ マクベスよりも小さくても大きい。王にはならないが、王を生み出す。だから、万歳、マクベスとパンクォー！」



ダーの領主とお呼びするようお命じになった。それに対してマクベスは「グラムズ、そしてコーダーの領主。最大のものがそのあとに控えている。」と語るが、

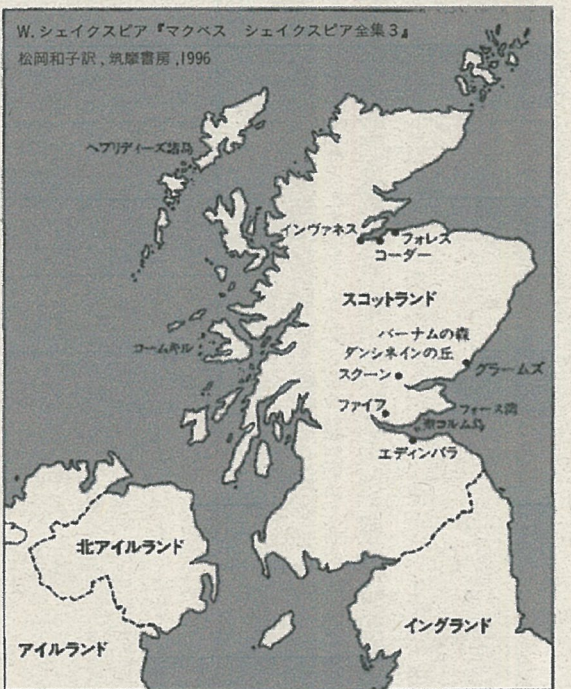


戦友パンクォーは「真に受けすぎると王冠にまで手を伸ばしたくなる。コーダーの領主だけではすまなくなるぞ。」と論じている。

超自然の誘いは凶とでるか、吉と出るか——心に浮かぶ殺人は、まだ空想にすぎないのにマクベスの五体をゆさぶり、思っただけで体が利かなくなるようだ。何ひとつ無い、在るのは無いものだけだ。

ダンカン王の長男 マルカムが王位継承者に

ダンカン「数々の飲びが胸の堰を切つてあふれ、悲しみのしづくに変わりそうだ。息子たち、身内の者、領主たち、そして、側近たちも聞いてくれ。私はここに長男マルカムを王位継承者とさだめる。だが栄誉を与えるのは彼ひとりにとど



W.シェイクスピア『マクベス』シェイクスピア全集3
松岡和子訳、筑摩書房、1996

まらず、功労ある者すべての頭上に、名譽のしるしとして星のごとく輝かせよう。

あのコーダーの領主には二度と私の信頼を裏切らせはしない。即刻死刑に処すよう言い渡せ。その称号はマクベスに与える。彼が敗けて失ったものを高潔なマクベスが勝ち得たのだ。」

今晚、ダンカン王はマクベス城を訪ねる予定だ。

進、二つ目の鉄橋を過ぎたら右折。西仲公園を防災倉庫の方に進むとある一戸建て住宅だ。線路沿いは日陰が少なく、道中は「文化ホールくるる」や「ヤオコー」で涼みながら来ていただくのがよいだろう。(渡辺)

道中は 熱中症に注意

旧加藤家住宅は、JR京浜東北線「蕨駅」西口から徒歩12分。住所は埼玉県蕨市南町2-8-2だ。駅西口の階段を降りたらロータリーを左へ曲がり、なか卯、TSUTAYAの通りを直

2018年現在、マクベスはいない。だが彼の犯した殺人、起こした戦争、そこに彼を追い込んだ状況の数々は、蕨の街路と一軒家に棲みついた。誰かが迷い込むのを待っている。

ゲッコパレード本拠地公演・戯曲の棲む家 vol.8 『マクベス』(作・W.シェイクスピア・訳・松岡和子)は、代表の黒田瑞仁が演出を担当し、河原舞、崎田ゆかり、山本瑛子、上池健太が出演、YUMIKAMORIが衣装を担当する他に、

「Aokid, ikuko shirakuma, カゲヤマ象台、渡辺瑞帆の4人のアーティストが参加している。4人の担当部分は「事件」として位置づけられ、展開される。手法はアーティストごとにさまざま。例えばこのペーパーや、観客参加のワークショップ、インスタレーションなどが上演を中断する形で挿入される。それぞれ劇中の出来事を普遍化したテーマ「戦争(渡辺 瑞帆)」「殺人(ikuko shirakuma)」「他者の死(Aokid)」「自身の死(カゲヤマ象台)」を順に担当している。使用する表現は演劇に関係するものに限定していない。ただし観客を鑑賞者のままにせず、主体的に「事件」に関わる仕掛けを施すことが条件だ。我々が死や殺人を考えると、物語性を強く意識したり非常事態というレッテルを貼りがちだ。しかし戦争や死は実際に起きているからには、日常感覚や現実世界の延長上に存在しているはず。自分の感覚でそれらの事柄を把握できなければ、その善悪を判断することも本当にはできない。アーティスト4人それぞれの持っている素直な感覚と、同じく現代を生きる観客の共通の感覚を信じ、上演とそこに起きる「事件」が何かいままで考えつらかったことを考えるきっかけになればと願っている。(黒田)

